

## 私の生活の一部伝書鳩飼育第5弾

平成30年11月吉日



今回で五回目の掲載になりますが、鳥の名前はハル5号といいます。

‘09年春レース500Kレジョナルレース、埼玉連盟において総合10位の成績でした。全体の羽数は15,000羽ぐらいです。特にスピードが要求される中距離レースです。放鳩場所はおおよそ岩手県辺りです。飼育者はこぞって参加します。以前には2万羽以上(ジャンボ埼玉と言われた)の参加羽数で争われた記憶があります日本一のレースです。数ある飼育者のなかでもまさに鳩飼育のレジェンドと呼ばれる人がいます。その名はM・U氏です現在は飼育していません。体調を崩して2007年に断念しましたが、鳩レース界ではこの人を語らずして始まりません。多分この人の成績はこれからも追い越される事は無いと思います、何せ日本一にまで登りつめた方ですから、私も尊敬しているひとりです。恩師とも言えますね。以前はだいぶ仲良くしてくださいましたし鳩のことでは大変勉強になりましたが原因は分かりませんがある日を境に連絡がありませんたぶん怒っているのでしょうか、私には心当たりがありますので残念ですね。もっともっと教えて頂きたかったのですが・・・飼育を断念

した際に M・U さんの鳩を私が引き継ぐことになった訳です。私的にはこんな大事な鳥を預かることにかなりの不安がありましたし M・U さんみたいに成績が良かったわけではありませんでした もともと私と M・U さんとの付き合いは同じ身体不良から同じ鍼灸治療院に通っていた仲で たまに鳩仲間と M・U さん宅に遊びにいく程度でしたから以前は鳩の繋がりは殆どなかったと思います。たまたま断念しなければならなかつた時期に 私と一緒に鍼灸治療院に通っていたものですからまあとっさに思いついたのでしょうか 私の方もその頃は足が不自由でしたので飼育をやめようか考えていたころでしたが M・U さんが飼育を断念するにあたっては 400・500 羽いた鳩を処分する言う事で雑誌に掲載して販売しようかと考えていたのでしょうか私に打ち明けてくれました 暫くすると途中で販売をやめると言い出しました何故ですかと聞きましたところ販売所の会社が危ないので中止にしたそうですまだ 300 羽位残っている状態でどうするんですかと聞きましたら「残りは全部捨てればいいよと言いましたね」私としても M・U さんが残りの鳩を全部処分すると言っていましたからそれじゃあ勿体無いから私が預かりましょうかと言ったのがきっかけでしたねそれからが鳩の繋がりが始まったと言う訳ですよ。 M・U さんも奥さんもそれはひとが良すぎるあまり少し疲れた時もありましたそれに私を構いすぎるので少しうつとうしいときもありましたね そんな付き合いで 3~4 年位続きました。飼育を断念した翌 08 年から M・U さん指導のもと共同鳩舎が始まりましたか。 その第一弾として ハル 5 号 次のハル 6 号が生まれた訳です。今回このハル 5 号の鳥はこの M・U さん所有の両親鳩から私が作出したものです。いわゆる共同作出というわけです ハル 5 号が入賞した時には M・U さん夫婦をはじめ私の師匠である K・M 氏 (ケンちゃん) その他にも弟の S・O 氏・T・N 氏 M・A 氏 T・I 氏その他にも家族を含む仲の良い人達と一緒に祝宴を設けました全て私負担で祝儀なし (笑い) まあ少しの賞金では到底間に合いません。ゴルフにはホールインワン保険なんてものがありますが鳩レースにはありません 自己満足の世界ですからね お金もかかりますよ。これ本音。 笑い·····

また、私と K・M 氏と T・I 氏と T・N 氏の四人でよくウナ重の御馳走ごっこをしていましたことも思い出しました

勝ったら御馳走は T・I 氏負けたら御馳走は K・M 氏といろいろでしたがいつも私が御馳走していたように覚えています。